

# 地域の重要路線を守る

庄内森林管理署 平田森林事務所

関 康春

*Yasuharu Seki*

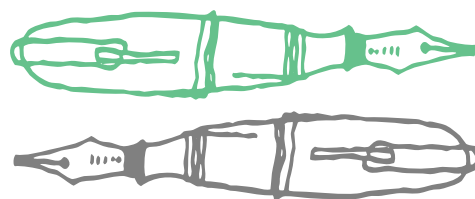
**私**の勤務する森林事務所は、山形県の北西部に位置する酒田市にあります。酒田市の国有林は八幡森林事務所と平田森林事務所が管理しており、私は平田森林事務所勤務しています。

平田森林事務所部内には国有林で管理する林道が11路線あります。林道とは木材を主とする林産物の搬出や造林事業等の森林整備を推進するなどの目的で開設された道路の名称です。これらの林道は、登山等のレクリエーション、田んぼや畑等の農業、隣町へ行く生活道として地域住民にも利用されており、重要な道路となっています。

このように国有林だけでなく、地域住民にとって大事な林道を維持・管理することも森林官の業務の一つです。

平田森林事務所管内は、雨の日が多く、林道の維持修繕も重要な業務の一つとなっています。毎年必ずといっていいほど林道が損壊しており、平成22年度も秋の大雨のため6路線で土砂崩れ等が発生しました。そのため雨の降った後は、各林道へ点検に行き、「土砂が崩れていないか」「路面に亀裂が入っていないか」等の安全確認を行っています。

規模が大きい土砂崩れは署に報告し請負で撤去しますが、人力で除去できる場合は森林事務所の基幹作業職員が土砂等を除去します。紅葉の時期が終われば、落ち葉が側溝



森林官からの手紙

に堆積し、水が溢れ路面を流れてしまいます。そのまま放置しておく、路面が洗掘され、崩壊してしまうので、こまめにスコップ等で除去しなくてはなりません。水を含んでいるため人力で行うのは重労働で、落石や腰を痛めないよう労働安全にも注意しながら作業しています。

また地元自治体と併用協定を結んでいる路線もあり、土砂災害時等の対応が遅れないためにも普段からの林道状況の情報共有が重要となっています。これからも国有林と地域を結ぶ重要な林道を安全に通行できるよう維持・管理していくために、地元自治体や地域住民と情報の共有、連携を図っていきたく考えています。



大雨後、林道上を流れる沢水



林道上に滑り落ち盛り上がった土砂



土砂の除去作業